

ワクチン情報の説明

带状疱疹組み換えワクチン、RZV: 知っておくべきこと

Many Vaccine Information Statements are available in Japanese and other languages. See www.immunize.org/vis

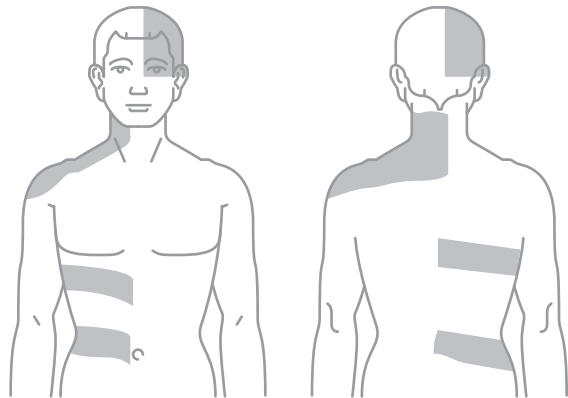
多くのワクチン情報の説明が、日本語やその他の言語で利用することができます。
www.immunize.org/vis を見てください。

1 ワクチン接種を受ける理由は?

带状疱疹 (带状疱疹ヘルペスとも呼ばれることがあります) は痛みを伴う皮膚発疹で、水疱ができることもあります。带状疱疹は水痘带状疱疹ウイルスによって起こります。これは水疱瘡 (みずぼうそう) を起こすウイルスと同じものです。水疱瘡にかかると、このウイルスはあなたのお体のなかに住み続け、後で带状疱疹を引き起こす場合があります。

他人から带状疱疹を移されることはありません。ただし、水疱瘡にかかったことがなく、水疱瘡ワクチン接種もしたことがない方は、水疱瘡を他人から移される場合があります。

带状疱疹の皮膚発疹は通常、お顔やお身体の片側に現れ、2~4週間で治ります。その主な症状は痛みで、ひどい痛みとなる場合があります。その他の症状として発熱、頭痛、悪寒、胸やけなどが起こる場合もあります。非常にまれですが、带状疱疹の感染により肺炎、難聴、失明、脳炎、死亡に至る場合があります。



約5人に1人の割合で、発疹が治まった後もひどい痛みがさらに長く続く場合があります。この長期間に渡る痛みは带状疱疹後神経痛 (post-herpetic neuralgia, PHN) と呼ばれます。

带状疱疹は、若い方々よりも50歳代以上の方々に非常によく見られ、その発症リスクは年齢とともに増加します。またがんのような疾患、ステロイドや化学療法などのような薬剤で免疫系が弱った方々にもよく見られます。

米国では毎年100万人以上の方々が带状疱疹にかかります。

2 带状疱疹ワクチン(組み換え)

带状疱疹組み換えワクチンは、带状疱疹の予防に関し、2017年にFDAにより承認されました。治験によれば、带状疱疹の予防において90%以上の効果が見られました。これによりPHNの発症率を減らすこともできます。

なお、**50歳以上の方に**、2回のワクチン接種を2~6カ月間の間隔をおいて受けて頂くことをお勧めしています。

このワクチンは、带状疱疹生ワクチン (Zostavax) をすでに受けて頂いた方にもお勧めしています。このワクチンに生ウイルスはありません。

3 このワクチンを受けるべきでない方もいます

もしあなたが以下の項目に当てはまる場合には、ワクチン接種を行う医療従事者にそれをお伝えしてください。

- ・ **重度の、命に関わるアレルギーを持っている。** 带状疱疹組み換えワクチンを1回投与した後、命に関わるアレルギー反応が起こったことがある方、またはこのワクチンの成分に対し重度のアレルギーをお持ちの方には、ワクチン接種を受けないことをお勧めする場合があります。ワクチンの成分についてお知りになりたい場合には、担当の医療従事者にお尋ねください。
- ・ **妊娠しているまたは授乳中である。** 妊娠中または授乳中の方における带状疱疹組み換えワクチン使用に関する情報はあまりありません。担当の医療従事者はワクチン接種を遅らせることをお勧めする場合があります。
- ・ **体調がすぐれない。** 風邪のような軽い病気のような場合には、当日にワクチンを受けることができる可能性があります。中程度または重い病気にかかっている場合には、おそらく回復するまでお待ちいただく必要があります。担当医師がアドバイスいたします。

4 ワクチンの反応のリスク

ワクチンを始めとしていかなる医薬品によっても反応が起こる可能性はあります。

带状疱疹組み換えワクチン接種を受けた方が、その後経験する可能性があるのは、

- ・注射した部位の痛み、発赤、痛み、腫れ
- ・頭痛、筋肉痛、発熱、悪寒、倦怠感

治験によれば、ほとんどの方々がワクチン接種後、腕に軽いまたは中程度の痛みがあり、中には発赤や腫れが注射部位に見られた方もいました。中には倦怠感を感じたり、筋肉痛、頭痛、悪寒、発熱、胃痛、吐き気を覚えた方もいらっしゃいました。带状疱疹組み換えワクチンを受けた6人に約1人が、通常の活動が副作用により通常の活動ができませんでした。症状は約2~3日で自然に消失しました。副作用は若い方々の場合により多くみられました。

初回の接種でこれらの反応の一つが起こった方でも、带状疱疹組み換えワクチンの2回目の接種を受けて頂く必要があります。

このワクチン接種の後起こる可能性があること:

- ・ワクチン接種を含め、医学的な処置により失神する方もいます。約15分、間椅子にお座りになるか横になることで失神し転倒により怪我をするのを防ぐことができます。目まいや視力の変化、耳鳴りなどを感じたら、担当医療従事者にお伝えください。
- ・注射の後通常の痛み以上に重い肩の痛みが起こったり、長く続く方もいます。このようなことが起こることはめったにありません。
- ・どのような医薬品でも重いアレルギー反応が起こる場合があります。ワクチン接種に対するこのような反応はおおよそ百万回の投与に1回と見積もられています。また反応が起こるとしたら、ワクチン接種後数分から数時間以内に起こる可能性があります。

あらゆる医薬品による場合と同じく、ワクチン接種により重篤な障害や死亡が起こる可能性はごくわずかにあります。

ワクチン接種の安全性は常にモニターされています。詳しい情報につきましては、www.cdc.gov/vaccinesafety/ を見てください。

5 重度の問題が起きたら?

何を調べるべきでしょうか?

- ・あなたが心配している事柄についてお調ください。例えば、重いアレルギー反応、高熱、普通ではないふるまいなどの症状などです。

重いアレルギー反応の症状には、蕁麻疹、顔やのどの腫れ、息苦しさ、速い鼓動、目まい、倦怠感などがあります。これらは通常ワクチンを摂取してから数分から数時間で始まります。

どうしたらいいのでしょうか?

- ・**重いアレルギー反応**またはその他の緊急事態で待つことができないとお考えの場合は、9-1-1にお電話し、お近くの病院にかかってください。そうでなければ、担当の医療従事者にお電話ください。

後ほど、その反応をVaccine Adverse Event Reporting System (VAERS) (ワクチン有害事象報告システム) に報告する必要があります。担当の医師はこの報告をファイルする必要があります。またはあなたご自身がVAERSウェブサイトwww.vaers.hhs.govを通し、または1-800-822-7967にお電話し、報告することもできます。

VAERSは医学的なアドバイスを提供しません。

6 詳しい情報を知るには?

- ・担当の医療従事者にお尋ねください。医療従事者はワクチンの添付文書をあなたにお渡しするか、その他の情報源をお勧めする場合があります。
- ・現地または州の健康管理部門にお電話ください。
- ・Centers for Disease Control and Prevention (CDC) (疾病管理予防センター) の連絡先:
 - 電話 1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO) または
 - CDCのウェブサイトwww.cdc.gov/vaccinesを見てください

Vaccine Information Statement Recombinant Zoster Vaccine

2/12/2018

Japanese

Office use only

